

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年04月03日

計画の名称	世界へつながる"さっぽろ"の新たな顔づくり												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	札幌市												
計画の目標	<p>札幌市では、1972年冬季オリンピックの開催決定を契機に、地下鉄をはじめ都市基盤整備が飛躍的に進められた。特に都心部においては、市役所新庁舎、地域暖房、地下街などが相次ぎ完成し、現在に至る都心部の街並みが概成された。以来50年近くの年月が経過し、札幌の都心部における多くの建物が建て替え更新時期を迎えている中、耐震性や環境性能など今日的な社会ニーズに対応した再開発が盛んに進められてきているところである。</p> <p>そして、2030年度には北海道新幹線札幌開業が予定され、加えて2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指しており、都心部のリニューアルを通して、世界につながる道都"さっぽろ"の新たな顔づくりを進めていく。</p> <p>本整備計画では、「札幌駅交流拠点まちづくり計画(2018年9月策定)」の計画区域を対象範囲とし、フラッグシップ事業として、新たな新幹線改札口に面する北5西1・西2地区において市街地再開発事業を実施する。導入する主な機能は、1階に大規模バスターミナルを整備し、高層部には国際水準のホテルや高機能オフィスなど高次都市機能の集積を図る。また、「環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデル」を目指し、都心開発のスマートシティモデルを国内外に発信する。併せて、隣接する北4西3街区、北5東1街区等の民間開発と連携を図り、商業・業務機能のボリューム、交通処理計画、歩行者ネットワークの形成などの要素において、札幌駅周辺エリア全体としてバランスのとれた開発を誘導していく。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和2年度	中間目標値	最終目標値 令和6年度
1	札幌駅周辺エリアにおける市街地再開発事業の実施箇所数 札幌駅周辺エリアにおける市街地再開発事業の実施箇所数	0箇所	箇所	2箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	札幌市	直接	札幌市	-	-	札幌駅南口周辺地区街区 間連携検討	計画コーディネート 17.7ha	札幌市						60		未策定	
												小計						60		
												合計						60		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
札幌市まちづくり政策局都心まちづくり課	令和5年度
	公表の方法
	市ホームページにより公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次都心まちづくり計画（平成28年）及び札幌駅交流拠点まちづくり計画（平成30年）等の関連計画を踏まえ、札幌駅南口周辺で進行する開発プロジェクト間の具体的な連携の方向性を明らかにし、世界都市さっぽろの玄関口にふさわしい拠点を形成することを目的として、令和3年(2021年)11月に札幌駅周辺エリア再整備の基本的な考え方を取りまとめた。 ・上記の基本的な考え方を踏まえ、エリア全体として整合の取れたまちづくりを進める必要があるため、駅前広場や歩行者空間等の公共空間の整備のあり方検討及び各事業間の連携調整を行い、エリア全体としてバランスの取れた開発を誘導した。 ・北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業を令和4年（2022年）10月に都市計画決定し、北4西3地区第一種市街地再開発事業を令和4年（2022年）3月に都市計画決定した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、札幌駅周辺エリア再整備の基本的な考え方等を踏まえ、各事業を推進していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	札幌駅周辺エリアにおける市街地再開発事業の都市計画決定件数 北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業及び北4西3地区第一種市街地再開発事業を都市計画決定し、目標を達成した。
	最終実績値	

(参考図面)

